



～観光列車「あめつち」に乗って紐解く 小泉八雲とセツの心の故郷～ 10月～1月に車内で様々なイベントを実施します

観光列車「あめつち」では、作家 小泉八雲とセツの思い出の地をたどる特別イベントを10月～2026年1月に実施します。二人の背景や故郷に迫り、小泉八雲の作品や人生に影響を与えた山陰の地を巡ります。日本と海外を結ぶ歴史と文化の深みを観光列車「あめつち」で楽しむ絶好の機会です。

1. 実施日

2025年10月11日～2026年1月25日の「あめつち（鳥取～出雲市運行）」運転日

10月							11月							12月							2026年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							★1		1	2	3	4	5	6					1	2	3
5	6	7	8	9	10	★11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24	★25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31
							30																				

※★の復路（上り）は米子止め

2. 時刻

【下り：鳥取→出雲市】

鳥取	倉吉	(由良)	(御来屋)	米子	安来	松江	出雲市
9:05 発	9:58 発	(10:10 頃)	(10:45 頃)	11:14 発	11:25 発	11:54 発	12:37 着

【上り：出雲市→鳥取】 ※10/11・25、11/1 は米子止め

出雲市	玉造温泉	松江	安来	米子	(御来屋)	(由良)	倉吉	鳥取
14:05 発	14:36 発	14:48 発	15:16 発	15:39 発	(16:05 頃)	(16:30 頃)	16:55 発	17:53 着

※()…由良駅・御来屋駅では列車待合せ停車中にドアが開きます。(新規の乗降はできません)

※御来屋駅の停車時間はわずかです。車内または列車の近くでお楽しみください。

3. 内容

(1) 小泉八雲の「怪談」を車内で放送します

小泉八雲の代表作「耳なし芳一の話」「雪女」の他、松江市にある大雄寺を舞台にした「飴を買う女」や、セツが小泉八雲へ読み聞かせた「鳥取の布団」などの数々の作品を、地元ラジオ局のエフエム山陰がプロデュース、制作したものを車内で放送します。

※鳥取～出雲市で4話放送します。

(2)「あめつち文庫」を「小泉八雲文庫」に変更します

「あめつち文庫」では山陰や神話にまつわるさまざまな本や雑誌をご用意しておりますが、期間中は小泉八雲記念館推薦の書籍を設置し「小泉八雲文庫」に変更します。

「小泉八雲文庫」設置書籍	
小泉八雲の怪談づくし	小泉セツ ラフカディオ・ハーンの子として生きて
小泉八雲、開かれた精神オープン・マインドの航跡。	ヘルンとセツ
思ひ出の記	新編 日本の面影
妖怪に焦がれた男 小泉八雲全解剖	

(3) 記念撮影ボードを「小泉八雲特別記念撮影ボード」に変更します

期間中は、通常のあめつち記念撮影ボードから小泉八雲特別記念撮影ボードに変更します。撮影ボードには乗車日も記載していますので、旅の記念にぜひご利用ください。



画像はイメージです。デザインは変更する場合があります。

(4) 小泉八雲記念館来館者作製「小泉八雲行燈」を設置します

昨年 10 月に小泉八雲記念館来館の方に作製いただいた小泉八雲にちなんだ行燈を設置します。小泉八雲の肖像画や雪女、ろくろ首などを描き、地元・松江の出雲民藝紙で飾り付けをしています。



4. その他

9月6日(土)に小泉八雲の曾孫である小泉凡氏が、鳥取駅から出雲市駅まで観光列車「あめつち」に乗車し、車窓からの景色を愛でながらご案内します。

鳥取駅→米子駅間は乗車券・指定席グリーン券はみどりの窓口やみどりの券売機、e5489 サービスで販売し、米子駅→出雲市駅間は日本旅行主催の旅行商品として販売します。

詳しくは以下の URL にてご確認ください。

<https://www.jr-odekake.net/railroad/kankoutrain/assets/pdf/ametuchi/20250717.pdf>

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 8 番、11 番、17 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

